

おれは
せかいの
いんげん
おまへが
すまいた



脚本監督
阪本順治
企画プロデューサー
原田満生
出演
黒木華 寛一郎 池松壮亮 眞木蔵人 佐藤浩市 石橋蓮司

第52回ロテルダム国際映画祭
OFFICIAL SELECTION
ビッグスクリーン
コンペティション部門出品

せかいのおまへ

製作：近藤純代 企画・プロデューサー：原田満生 音楽：安川午朗 音楽プロデューサー：津島圭一 撮影：笠松潤彦 照明：杉本崇 録音：志満順一 美術：原田満生 美術プロデューサー：梶原元紀 装飾：橋本浩史 小道具：井上光
編集：早野亮 VFX：西尾健太郎 衣装：大塚満 床山・メイク：山下みどり 編集：松浦真理 マシン統括ディレクター：中村博 助監督：小野寺英信 ラインプロデューサー：松田憲一良 バイオエグゼーティブ監督：椎島義之 五十嵐まひ子
製作：FANTASIA Inc./YOIHI PROJECT 制作プロダクション：ACCA 配給：東京アトル/U-NEXT/リトルモア ©2023 FANTASIA 映画公式サイト：sekainookiku.jp 映画公式Twitter：@okiku_movie 「YOIHI PROJECT」公式サイト：yoihi-project.com

『せかいのおきく』には、今までの時代劇にはない全てがある。

—クリスティーナ・アシェンブレノヴァ（ロッテルダム国際映画祭プログラマー）

【ものがたり】

22歳のおきくは、武家育ちでありながら今は貧乏長屋で父と二人暮らし。毎朝、便所の肥やしを汲んで狭い路地を駆ける中次のことをずっと知っている。ある時、喉を切られて声を失ったおきくは、それでも子供に文字を教える決意をする。雪の降りそうな寒い朝。やっとの思いで中次の家にとどり着いたおきくは、身振り手振りで、精一杯に気持ちを伝えるのだった。

幕末、江戸の片隅。おきくや長屋の住人たちは、貧しいながらも生き生きと日々の暮らしを営む。そんな彼らの糞尿を売り買いする中次と矢亮もまた、くさい汚いと罵られながら、いつか読み書きを覚えて世の中を変えてみたいと、希望を捨てない。お金もモノもないけれど、人と繋がることをおそれずに、前を向いて生きていく。そう、この「せかい」には果てなどないのだ—。

おきく、22歳。声を失ったけれど、恋をした。彼に伝えたい言葉がある。だから今日、どこまでも歩いて会いに行く。



【ご紹介】

つらく厳しい現実にくじけそうになりながら、それでも心を通わせることを諦めない若者たちを描く『せかいのおきく』。日々を生きる喜びと輝きを感じ、人と人のぬくもりに包まれる、90分の愛おしい青春映画が誕生しました。ヒロインのおきくは、ある悲惨なできごと巻き込まれて声を失います。演じるのはベルリン国際映画祭や三度の日本アカデミー賞に輝く女優、黒木華。そのセリフの無い名演をぜひご覧ください。他にも日本映画を代表する名俳優たちが集まりました。

脚本と監督は数々の名作を作ってきた阪本順治。貧しくもたくましく生きる長屋の住人たちをみずみずしく描く、阪本監督の最高傑作です。また、映画のテーマについて企画・プロデューサーの原田満生はこう語ります。「江戸時代は資源が限られていたからこそ、使えるものは何でも使い切り、土に戻そうという文化が浸透していました。人間も死んだら土に戻って自然に帰り、自然の肥料になる。人生の物語もまた、肥料となる。自然も人も死んで活かされ、生きる。この映画に込めた思いが、観た人たちの肥料になることを願っています」

本作は、気鋭の日本映画製作チームと世界の自然科学研究者が協力して、様々な時代の「良い日」に生きる人々を描き「映画」で伝えていくYOIHI PROJECTの第一弾作品です。

黒木華 寛一郎 池松壮亮 眞木蔵人 佐藤浩市 石橋蓮司 脚本・監督：阪本順治

製作：近藤純代 企画・プロデューサー：原田満生 音楽：安川午朗 音楽プロデューサー：津島玄一

撮影：笠松則通 照明：杉本崇 録音：志満順一 美術：原田満生 美術プロデューサー：堀明元紀 装飾：極並浩史 小道具：井上充

編集：早野亮 VFX：西尾健太郎 衣装：大塚満 床山・メイク：山下みどり 結髪：松浦真理

マリン統括ディレクター：中村勝 助監督：小野寺昭洋 ラインプロデューサー：松田憲一良 バイオエコノミー監修：藤島義之 五十嵐圭日子

製作：FANTASIA Inc./YOIHI PROJECT 制作プロダクション：ACCA 配給：東京テアトル/U-NEXT/リトルモア ©2023 FANTASIA

2023年/89分

すばる映画祭 ~Film Collection~

令和5年10月20日(金)

①10:30 ②14:00 (開場は各30分前)

【各回入替制
全席自由】

全回日本語
字幕付上映会

すばるホール 2Fホール
SUBARU HALL (1階席のみ)

※ 駐車場に限りがあります 電車・バスをご利用ください

入場料

一般 1000円(税込)【当日1200円(税込)】
割引 900円(税込)【当日 900円(税込)】

チケット販売所

すばるホール(ホームページからも購入可)
ラブリールホール/SAYAKAホール/LICはびきの
喫茶コンゴ(富田林市役所内)
ローソンチケット【Lコード:55384】
9月6日(水) 発売開始(友の会も同日)

※ 割引対象は60歳以上・高校生以下・障がい者の方及びその介護者1名まで

<すばる友の会会員前売>

一般 900円 割引 810円

※当日会場に本チラシご持参で当日料金より一般の方のみ100円割引きでご入場できます。(1枚で3名まで有効)

主催：(公財)富田林市文化振興事業団 / 大阪映画センター

◆問い合わせ/☎0721-26-2060(すばるホール富田林市桜ヶ丘町2-8)